

2021年（令和3）10月12日

第11回レギュラトリーサイエンス学会 学術大会 参加者各位

爽秋の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、去る9月17日、18日に開催しました第11回レギュラトリーサイエンス学会学術大会は、皆様ご存知のように新型コロナウイルス感染症に対応して、すべてZoomによるOn Line開催の方式をとりました。運営上初めてのことでありましたが、WEB登録者は430名と、沢山の方々のご協力を得ました。ご講演並びにご参加の皆様のおかげをもちまして密度の濃い学術集会となり、成功裡に終えることが出来ましたこと、衷心より感謝申し上げます。

大会特別シンポジウムでご講演を頂いた妙中義之先生（国立循環器病研究センター名誉所員、日本医療研究開発機構）、手代木功先生（塩野義製薬株式会社代表取締役社長）、山本晴子先生（独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 医務管理監／理事長特任補佐）にはそれぞれの先生しかお話しできないタイムリーな内容であり、厚く御礼申し上げます。また、13件のシンポジウム、18件の一般口演、32件のポスター発表における座長、演者等をお引き受け頂いた方々に深く感謝申し上げます。

今回の学術大会は、「社会実装を加速するライフサイクルとレギュラトリーサイエンス」というテーマで開催させて頂きました。本大会では、会員の方々が取り組んでおられる課題についての議論が深まるとともに課題解決に資するレギュラトリーサイエンス研究の種々進展があったと確信しております。

また、今回の学術大会の運営については、新型コロナウイルス感染症対策のこともありWEB開催となり、中垣俊郎先生はじめ、事務局の方々の周到な準備に感謝いたします。また、ポスター優秀者のWEB投票により3名を決定でき、ほっと致しました。しかし、すべて新しいことばかりで行き届かない点多々あったかと存じます。この場を借りて、お詫び申し上げます。

最後に、皆様方のご健勝、ご活躍を祈念申し上げますとともに、引き続き、当学会へのご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。略儀ながら私からの御礼の挨拶とさせていただきます。

レギュラトリーサイエンス学会
第11回学術大会 大会長 梅津 光生